



全日本建設交運一般労働組合 全国酸素部会新聞



発行 建交労 全国酸素部会機関紙部
大阪府堺市西区石津西町1-2番

TEL 072-276-4320

メール zenkoku.sanso@gmail.com

HP <http://sansobukai.web.fc2.com>

大田貨物班 偽装請負裁判報告集会



2024年3月22日(金)堺市産業振興センターにて、建交労関西合同支部大陽液送分会大田貨物班偽装請負裁判報告集会が25名の参加で開催されました。

大陽液送 東堀さんの司会で始まり、建交労関西合同支部 橋本執行委員長の挨拶、建交労全国トラック部会 足立部会長の挨拶があり、地域労組さかいの尾下さんから大阪医療刑務所公用車運転偽装請負事案の説明がありました。

大田貨物班 長谷川さんから2020年3月16日の提訴から4年間たたかってきた偽装請負裁判の報告がありました。

本件は、大阪地裁、大阪高裁と棄却され、2023年9月に最高裁への上告申立てを行い、同年11月に最高裁へ上告受理申立て理由書を提出し、僅か3ヶ月半という異例の速さで、2024年2月21日上告不受理が決定されました。この判決は二度と覆ることはありません。今後、気持ちを切り替えどうたたかて行くか、皆で色々議論しあらゆる方法を使い奮闘していきたいと思っておりますと述べ、この4年間、建交労の仲間の皆様には多大なる御支援と御協力を賜り、本当にありがとうございました。ここまで、たたかってこれたのも仲間の皆様の支えがあったからだと言われられました。

裁判経過報告のまとめで村田弁護士から、事件概要、訴訟の経緯、高裁判決の内容を詳しく説明して頂きました。

次に懇親会が行われ、会場内で食事をしながらディスカッションされました。

最後に大陽液送 穀谷分会長の力強い団結ガンバローで報告集会が締めくくられ閉会となりました。参加された皆様お疲れ様でした。

寿運送分会 宗正芳

幸栄運輸支部 新入組合員紹介



2023年1月10日より幸栄運輸(株)に入社しました小山淳、33歳です。

「日本人は大人すぎる」という言葉が嫌いで声を上げていこうと決めました。近年の物価上昇に、賃金上昇が追いつき追い越すために、微

力ですがお力添えさせていただきます。これからよろしくお願いたします。

幸栄運輸支部 小山淳

大陽液送分会 新入組合員紹介

令和6年3月16日から先輩の紹介により大陽液送(株)に入社し4月より大陽液送分会に加盟させて頂きました、永野一樹43歳です。

30歳の時から高圧ガスの仕事に携わって参りましたが組合活動させて頂くのはこの度が初めての経験になります。

先輩方のご指導のもと一から学びより良い賃金労働条件を目指し一生懸命努力し、さまざまな行動に積極的に参加して参りますのでご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



大陽液送分会 永野一樹

大陽液送分会大田貨物班 偽装請負裁判 4年間のたたかいを振り返りました

大阪地裁堺支部、大阪高裁での棄却。そして最高裁での不受理決定を受け、原告である大田貨物班メンバーが4年間のたたかいを振り返り、この争議、そして今後の大田貨物とのたたかいについてコメントを頂きました。

竹村 政和

裁判所(裁判官)は労働者の味方ではなく敵であり、裁判は誰にでも平等では無いと言う事を実感しました。

これからの意気込みとしては、少しでも職場の労働条件を良くしていくために団交や組合活動に出来るだけ参加していきたいと思ひます。



服部 謙作

証拠も集め万全の体制だったにも関わらず、裁判官は、こちらの訴えの精査もせず、まるで結果ありきとしか思えない判決に非常に不条理さと憤りを感じます。

これから大田貨物に対して、いつまで経っても改善されない配車差別や、大陽との格差の見直しなど、運転手の事を考えた働きやすい職場環境づくりを要求し、Drivers firstを目指したいと思ひます。



福岡 哲也

子供の頃から裁判官は、正義だと思ひていましたが、いい加減な、役人仕事を目の当たりにして、開いた口が塞がりません。

私たちは、多くの証拠を提出し、それらを立証し、労働者としての権利を守る為にたたかってきました。しかし裁判官は、私たちの訴えに耳を貸すこともなく、不当な判決を行った事に、大田貨物班メンバーみんなが強い憤りを感じました。今後、大田貨物班一致団結し、会社との団体交渉にのぞみ、たたかっていきたいと思ひます。

大陽液送分会大田貨物班 長谷川 達三

トラック組織拡大宣伝行動

4月5日(金)トラック組織拡大宣伝行動が名神吹田サービスエリアの上り下りでおこなわれました。

午前中にビラを70枚、昼からは東大阪のトラックターミナルに移動し50枚、そこから南港では50枚配布しました。今回は宣伝ビラ以外にもマスク、ティッシュ、リーフレットの4点をクリアファイルで配布したのでスムーズに受け取ってもらえ好評でした。この4月から2024年問題が始まり、我々労働者にどう影響するか、企業が労働時間の縛りや様々な問題をどう改善していくかが重要になります。

今回の宣伝行動で一人でも多くの組織拡大に繋がればと思ひます。

寿運送分会 長谷川慎治

